KINKI HEALTH WELFARE UNIVERSITY　近畿医療福祉大学後援会報

ともに生きる

No.21
平成23年2月28日　発行

ご　挨　拶

後援会長
橋　本　弘　好

立春とは名ばかりで寒い毎日が続いております、後援会の皆様におかれましては日頃からのご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、近畿医療福祉大学におきましては、平成22年4月、大阪天王寺に経営福祉ビジネス学科の新しいキャンパスを開設して約1年が経とうとしています。福祉社会における新しいビジネスを創造できる人材の育成を目指して徐々に芽が出だしています。後援会と致しましても、大学の充実のためにできるかぎりの応援をしてゆきたいと考えております。

平成22年秋以降の大学行事について、簡単にまとめさせて頂きます。

10月23日･24日には「第11回播彩祭」が開催されました。今回は「～COLORFUL～」というテーマで、多彩な芸能公演もあり大学と学生との一体感のある笑顔で満ち溢れた大学祭になっていたと実感いたしました。各学生たちの人生の中で大学祭は仲間との触れ合い・先輩後輩との繋がり、地域社会との交流を通して各学生たちの今後の豊かな人間性を育む活動の一つになったことと思います。

11月～12月にかけては公開講座（4回シリーズ）が開催されました。内容は実益のあるものから今後の高齢化社会に向けての心構えについて学生・一般市民対象に開催されました。各教職員の方の熱心な講義は、地域とのコミュニケーション及び大学の目指す生涯教育という点では大切な行事のひとつだと感じました。

本年も、1月29日・30日と社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験が実施されました。実際に受験された学生の皆さんが一番大変だったと思いますが、受験対策に労された教職員の方々・家族の努力が報われ多くの朗報が入ることを心より願っております。そして、卒業される方々には建学の精神である「こころの福祉」を実践してゆき、多くの方々を幸福に導いてゆけるようにと願っております。最後に近畿医療福祉大学の更なる発展を願い挨拶とさせて頂きます。

後援会の皆様へ

後援会の皆様におかれましては、日頃から本学に対して多大なご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成２２年１１月１日より、吉武毅人前学長に代わり、杉本一義学長代行が学長に就任いたしましたことをご報告申し上げますと共に、新学長より人生福祉学に思いを馳せたメッセージをお届けいたします。

人生の福祉に生きる
～希望に燃ゆる人生の再出発～

学　長
杉　本　一　義

福祉の「こころ」を育み、自信をつけさせて社会へ送り出す。それが本学の教育方針である。前期試験のある日、一人の学生が廊下を、下を向いて、とぼとぼと近づいて来た。「どうしたのか」と声をかけると、五分遅刻をしたために、試験を受けられなくなった…と不満そうに、小さな声でつぶやきながら、通り過ぎようとした。

そこで呼び止め、やさしく、理由を尋ねてみると、欠席があまり多くて、今までに取得した単位が少ないので、卒業も危うい状態にあることが解った。

その日の「出会い」をきっかけに、時々研究室に呼んで、その後の勉強、クラブ活動、将来の希望、就職のことなどについて、親しく対話することにしていた。ところが、十月になってから、突然、姿を見せなくなった。どうしたのだろうかと気にかかりながらも、校務の忙しかったこともあって、うまく続いていた対話が途絶え、正月休みに入ってしまった。

年が明けて、心配になったので電話をかけて呼び出そうとした。しかし、今は忙しい…と言って、すぐには来室する気配はない。…寮にはいるらしいので、ある日学生食堂の前に待ち伏せていると向こうからやって来た。

挨拶を交わした後、近況を尋ねると、もう退学するというのである。理由は、第一志望にしていた企業の試験にも落ちたし、それに卒業もおぼつかない。だから、退学することにしたと言うのである。

ここから、本格的なカウンセリング、ケースワーク（社会福祉の個別援助の方法）が始まった。彼は一人息子で、母親と二人暮らしであることも解った。母親に心配、苦労をかけて、このような状態では、もう人生に意味も目的もない…と言う始末であった。

そこで、関係の先生方のご協力も得て、後期の試験を頑張るように手をつくした。就職先も見つけてやった。そうした努力の甲斐があって、彼の生活態度、人生態度は一変し、退学どころか、無事に卒業、就職先で頑張りながら、現在では大学院に通い、福祉の専門家の道を歩もうとしている。

まさに、希望に燃える新しい人生の再スタートである。

※学生相談の結果、一回限りの人生：二度と訪れることのない青春時代を、意味と目的のある希望の人生となっている一例をお知らせして、ご挨拶に代えさせていただきます。

就職支援への取り組みについて

就職部長・教授
長谷川　貴士

後援会の皆様におかれましては、日頃より多大なご支援をいただき誠にありがとうございます。

先般より、世界の経済情勢はかなりの不況に見舞われ、確固たる見通しが立たず低迷している状況で、日本経済も経済成長率の鈍化が著しく種種の不安定要因を抱えています。これを反映して昨今の就職状況も厳しいものとなり、2010年10月1日の全国の学生就職内定率は57.6%、12月1日でも68.8%となっており、また兵庫県レベルでは62.2%とさらに厳しい状況で、就職氷河期と言われた2000年前後よりも低い数字を記録し、「就職超氷河期」に本年度は入っていると言われています。

こうした就職状況のもと本学は福祉系大学ということもあって現在これらを上回る内定率を確保していますが、今後も一層の努力が必要であると認識しています。こうした就職難の情勢に対処すべく、本学就職部は学内合同就職説明会や就職セミナーの開催など学生へのさまざまな支援に加えて、まだ就職の決まっていない学生に対して複数回、直接電話連絡して就職相談を行い、学生の就職支援に邁進している次第であります。就職部のホームページのリンクには本学卒業生の就職実績のある企業・施設や、近隣の中小企業・施設を紹介し、随時学生たちがアクセスできるように設定しています。

今後の日本の近未来を考えてみると、終戦直後のベビーブーム期に生まれた「団塊の世代」が75歳以上となる2025年には、日本は65歳以上の高齢者が3500万人となる「超高齢社会」が到来します。このとき65歳以上の高齢者が日本の人口全体の28.7%、すなわち4人に1人以上となるので、「福祉」は必然的にますます将来性のある分野となってきます。10数年後にそうした「超福祉時代」を迎えるのですから、本学の学生が本学で現時点に講義されている福祉の専門知識を一生懸命に確実に学習され将来に備えられることを、就職部としては大いに期待しています。

そして就職活動にいそしんでいる本学の学生にとくに言っておきたいことは、就職活動に何回失敗しても、またどんな職業に就職しようとも、それらの経験は自分の人生と人格を豊かにするための一里塚であることを認識しておいて欲しいことです。すなわち就職にかかわるすべての活動の目的は結局は、広く大きく豊かな自らの心を育んでいくことになるのであるということです。このことを深く心に銘記して今後の就職活動に励んでくれることを就職部は心底願っています。

とはいえ大学学生の就職活動は学生個人の主体的行動によって達成されるべきものであり、希望業種・希望職種の選択など早め早めに決定し学生本人の要望に沿った職業・職場への就職を勝ち取られることを、就職部としては心より希望しています。右記に、現代社会にマッチした「就職活動心得十箇条」を紹介しておきます。

＊就職活動心得十箇条

一、就職活動とは、人間成長の場
　　努力した分だけ、君に返ってくる
二、忘れてはいけない感謝の気持ち
　　周りの人の支えがあって、君がある
三、就社ではなく、就職
　　君にとっての幸せな生き方とは何かを問い続けろ
四、夢・ビジョンが無き者に魅力はない
　　「どうなりたいか」「何をやりたいのか」を徹底的に考えろ
五、個性が最大の武器だ
　　企業は君の個性を求めている
六、社会で活躍する人間は、常に相手の立場を考えている
　　だからこそ、企業側が何を求めているかを考えて行動せよ
七、第一印象を甘くみるな
　　出会った瞬間の7秒に全身全霊を込めよ
八、同志を創れ
　　切磋琢磨できる仲間が君を育てる
九、就職活動は、自己を否定され続ける
　　落ち続けた時に、真価が問われると捉えよ
十、立ち止まるな。動き続けろ
　　一つの行動が、あなたの未来を変える

（『週刊ダイヤモンド』（2011年2月12日号）

学園祭の実施報告

こんにちは。第11回播彩祭実行委員会で委員長を務めさせて頂きました、小林由佳と申します。昨年、10月23日(土)・10月24日（日）の2日間に亘り『第11回播彩祭～COLORFUL～』を無事開催することができました。様々な企画や模擬店などにも多くの来場者の方々に参加して頂くことができ、とても嬉しく思いました。そして何より、皆様の一人ひとりの～COLORFUL～な笑顔を見ることができ、大変感動致しました。

最後になりましたが、開催にあたり後援会の皆様をはじめ、多くの方々のご支援・ご協力を賜り、播彩祭実行委員一同心より御礼申し上げます。

今年も皆様に楽しんで頂ける播彩祭を創るべく精進していきます。

平成22年度　後期各クラブ活動概要報告

スポーツセクション	硬式野球部	近畿学生野球連盟　秋季リーグ戦　3部
		近畿学生野球連盟　新人戦
	軟式野球部	近畿学生軟式野球連盟　秋季リーグ戦　1部
		近畿学生軟式野球連盟　新人戦
	硬式テニス部	関西学生対抗テニスリーグ戦
		関西学生地域トーナメント
	ソフトテニス部	関西学生ソフトテニス　秋季リーグ戦　6部
	男子バレーボール部	関西大学バレーボール連盟　秋季リーグ戦　6部
	女子バレーボール部	関西大学バレーボール連盟　秋季リーグ戦　4部
		全日本バレーボールインターカレッジ
	男子バスケットボール部	関西学生バスケットボールリーグ戦　4部A
		木戸杯兵庫県学生バスケットボール優勝大会
		関西学生バスケットボール新人戦
	女子バスケットボール部	関西女子学生バスケットボール秋季トーナメント大会　3部A
		木戸杯兵庫県学生バスケットボール優勝大会
	男子サッカー部	関西学生サッカー　後期リーグ戦　3部A
	フットサル部	兵庫県フットサル ミドルリーグ
	陸上競技部	兵庫県陸上競技選手権大会
		兵庫県秋季記録会
	柔　道　部	昇段試験
	弓　道　部	関西学生弓道連盟　秋季リーグ戦　5部B
	剣　道　部	兵庫県剣道優勝大会
		兵庫学生剣道大会新人戦
	車椅子バスケットボールサークル	第11回おりづる広島車椅子バスケットボール大会
		第4回こうのとり杯
	ダンスサークル	市川町秋祭り
	車椅子ハンドボール同好会	第8回日本車椅子ハンドボール競技大会
カルチャーセクション	レクリエーション	レクレーション提供・交流・秋祭りの補助
	ハッピークローバー	お誕生日会の補助
	吹奏楽部	慰問演奏・クリスマスイベント・ふるさと文化祭の補助
	軽音楽部	大学合同ジョイントライブ・学内ライブ
	写真部	行事の撮影
	茶道部	お茶会研修・お茶会・交流
	手話サークル	手話団体との交流
	文芸雑誌サークル	展示会の出展・行事の撮影
	播彩祭実行委員会	模擬店出店・学園祭の企画、運営
	ボランティア活動支援センター	ボランティア講演会の補助
	学 友 会	クリーン作戦（町内・学内）・クリスマスイルミネーション
		世界エイズデー啓発ボランティア・献血ボランティア・餅つき大会
	スポーツセクション	学内球技大会
	ドミトリーセクション	クリーン作戦（学内）

国家試験関係

平成22年度の「社会福祉士国家試験」と「精神保健福祉士国家試験」は、平成23年1月29日・30日に行われました。主に神戸会場は神戸国際展示場で、大阪会場はインテックス大阪で行われました。本学の学生は、「社会福祉士国家試験」の受験生が約230人、「精神保健福祉士国家試験」の受験生が約30人でした。合格発表は3月15日です！

お便りコーナー

事務局では会員の皆さまからの『もっとこういうことが知りたい』などのご意見、お便りをお待ちしております。またインターネットや携帯電話をご利用のうえ下記E-mailアドレスに送信いただいても結構です。どうぞよろしくお願いします。

発行日：2011年2月28日
発　行：近畿医療福祉大学後援会
事務局　教学課　〒679－2217 兵庫県神崎郡福崎町高岡1966-5
TEL（0790）22－5125　FAX（0790）22－6941　E-mail:gakuseibu@sw.kinwu.ac.jp